

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ~カーボンハーフ~

気象災害とカーボンハーフ

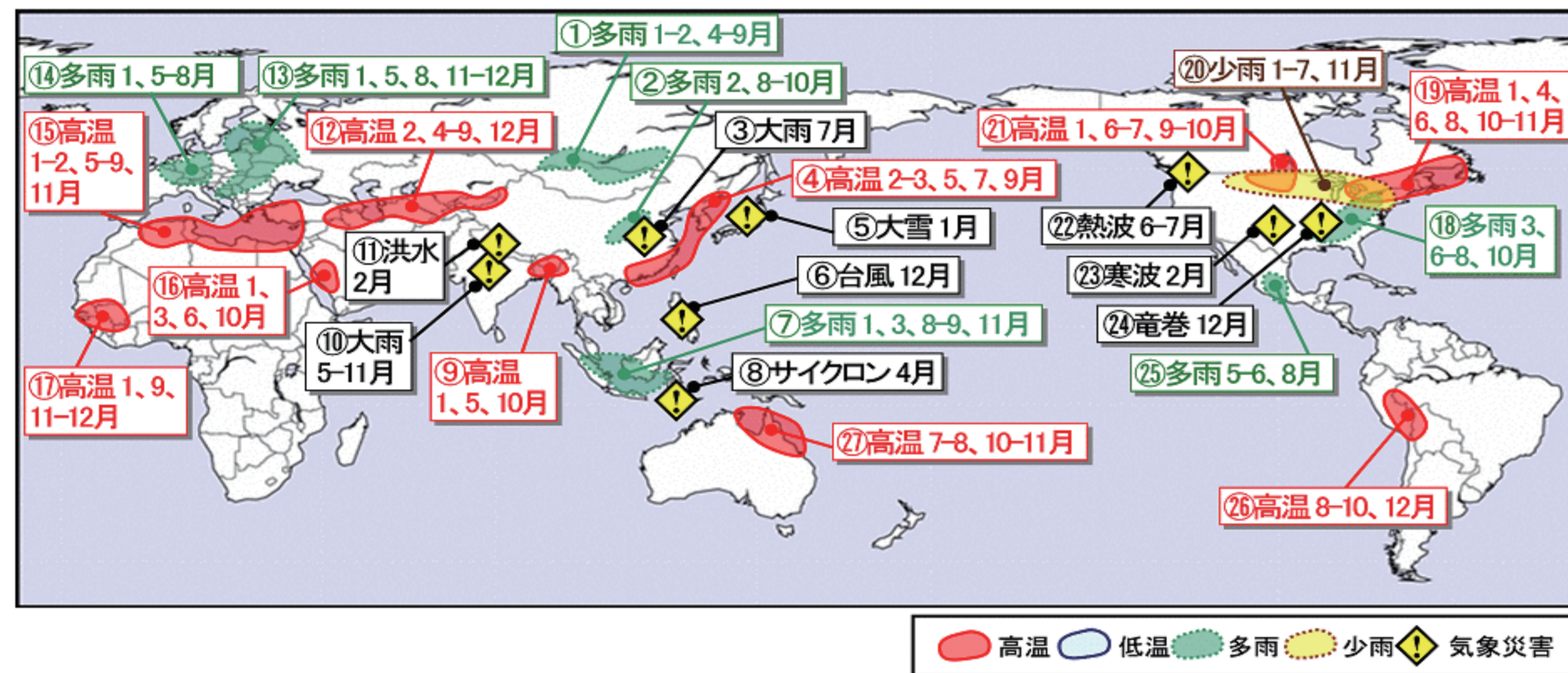
▶世界に広がる自然災害

気候変動などによる災害の数は、2021年8月のWMO（世界気象機関：国連の専門機関）の報告によると直近50年間で5倍となっています。

また、世界各国において、毎年のように熱波や山火事、洪水や台風、豪雨等、記録的な自然災害が発生しており、気候変動の影響は人々の身近な生活領域にまで及んでいます。

IPCC（気候変動に関する政府間パネル）は、2021年8月公表の報告書において、「人間の影響が大气、海洋及び陸域を温暖化させてきたことは疑う余地がない」と断定しています。

2021年（令和3年）世界の主な異常気象・気象災害



出典：気象庁ホームページ「世界の年ごとの異常気象」(https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/annual/) より抜粋



洪水 ドイツ(2021年)



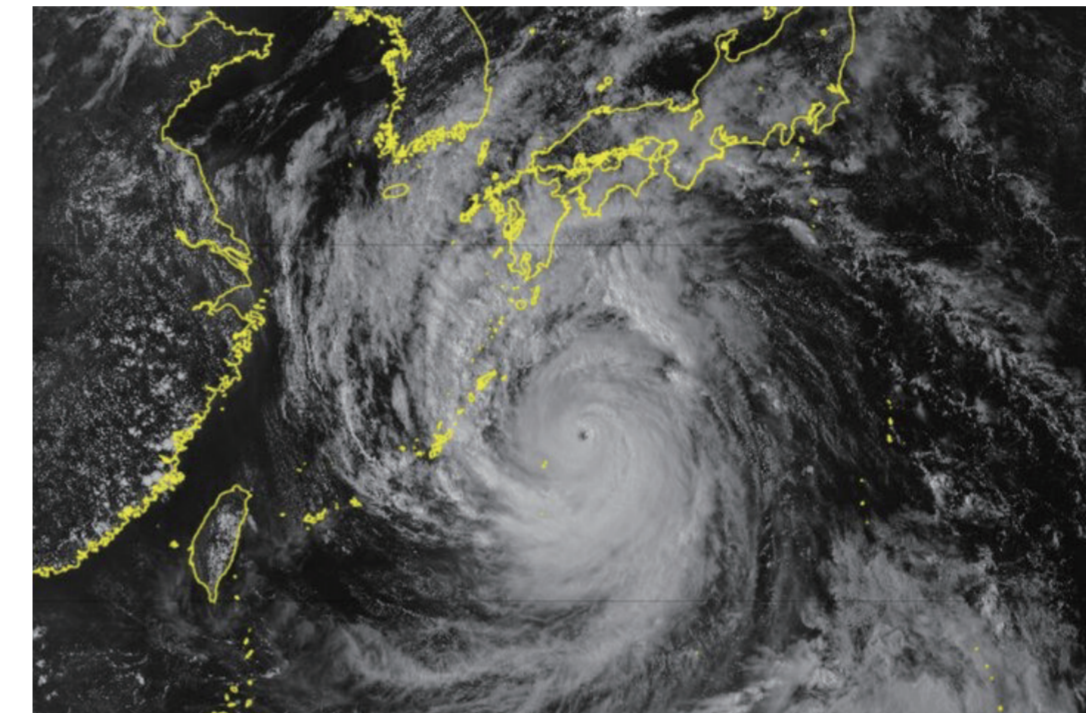
山火事 アメリカ(2021年)



大雨 佐賀県(2021年)

地球温暖化と台風

海面水温が高い海域で台風が発生しやすいとされています。



2022年 台風第14号 (衛星画像)

出典：気象庁ホームページ「台風第14号の今後の見通しについて」(https://www.jma.go.jp/jma/press/2209/17a/kaisetsu.pdf) より抜粋



2022年 台風第14号被害の土砂崩れ (鹿児島県)



地球温暖化による気候の変化について調べてみよう。

【気象庁 地球温暖化】▼クリック

https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/chishiki_ondanka/



▶気候変動の進行をおさえるためには、カーボンハーフの取り組みが重要

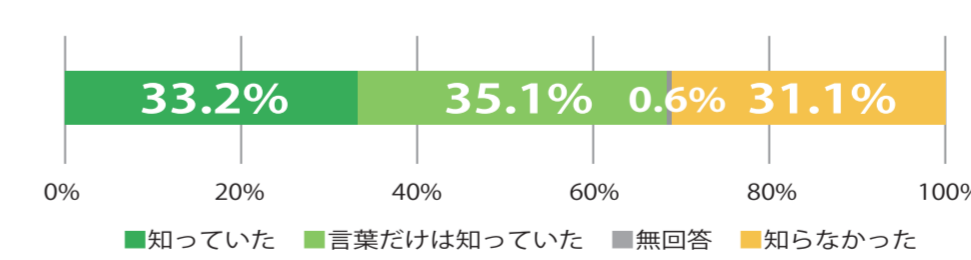
地球温暖化の進行をおさえることが、気候変動の進行をおさえることにつながります。そのためには、私たちの生活により排出される温室効果ガスを削減しなければなりません。東京都は、2030年までに温室効果ガスの排出量を半分（2000年比）にする「カーボンハーフ」の取り組みを進めています。

考えてみよう

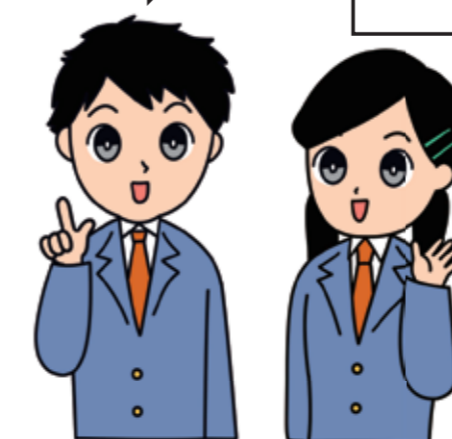
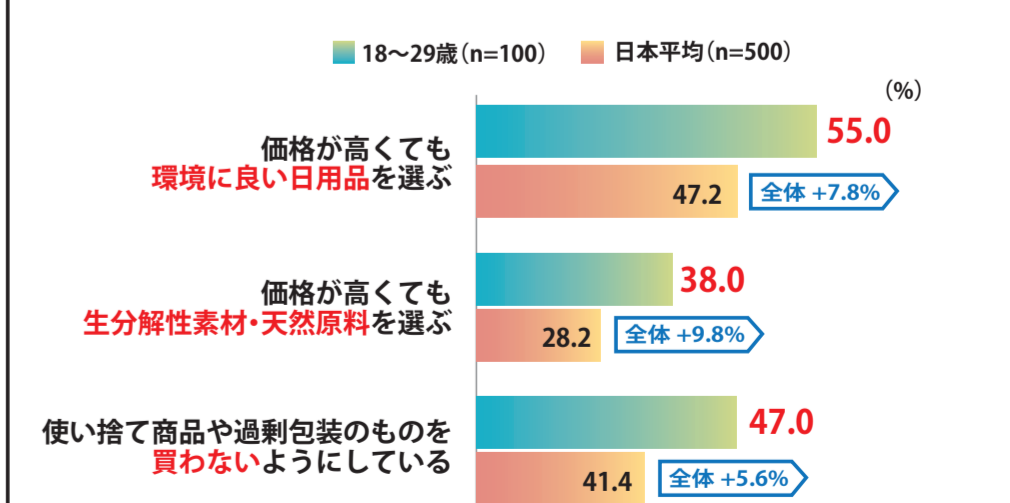
どうすれば、カーボンハーフの取り組みや脱炭素の取り組みについての意識を高めることができるか考えましょう

もっと、社会全体に広めていく必要があるね。

「脱炭素社会」の認知度



商品購買時に環境への負荷を意識するか



・個人ができること
・学校ができること
・企業ができること
を分けて考えるといいね。



「【環境学習動画】みんなで進めよう！HTT第1回H[へらす]編」

【東京都環境局】▼クリック

<https://tokyodouga.jp/wgx3yowda6i.html>



クイズを通して楽しく学ぼう！